

平成27年度 徳島県キャリア教育パイロット校事業

自らの役割や将来の生き方・働き方を考える生徒の育成
～認め合い，高め合う活動の実践を通して～



美馬市立江原中学校

1 学校紹介



生徒数 198名
学級数 9学級

校訓 勤労・誠実・友情

めざす学校像

「あたたかく、清々しい学校 ～認め合い、高め合う～」

- 安心して過ごすことができるあたたかさ
- 互いに思いやり、認め合うあたたかさ
- 整理整頓，掃除が行き届いた清々しさ
- 互いに高め合い，よりよい人間関係を築く事への喜びを感じる
清々しさ

本校の強み

- 生徒が素直で、何事にも真面目に取り組むことができる。
- キャリア教育推進委員会を設け、キャリア教育全体計画や年間計画に基づき組織的・協働的な取組を推進することができる。
 - ・1年生から3年生までを見通した年間計画
 - ・全教育活動にわたる全体計画
- 家庭・地域が学校に大変協力的である。
- 教職員による生徒理解・共有がされている。

本校の課題

- 身近な環境において、仕事や生き方に関する情報が限定されている。
- 学校生活が中心であり、様々な大人と関わる機会が限られている。
- 固定化された人間関係の中で自分自身の成長を実感する機会が少ない。
- 論理的文章について、思考力・表現力に課題がある。
(全国学力学習状況調査結果から)

2 事業のねらい

- 相手の気持ちや状況に配慮し互いに認め合う中で、積極的に人間関係を築こうとする態度を養う。
- 自らのよさや個性を知り、互いに高め合う中で、多様な生き方にふれ、働くことの意義を理解し、自己の生き方を考えさせる。

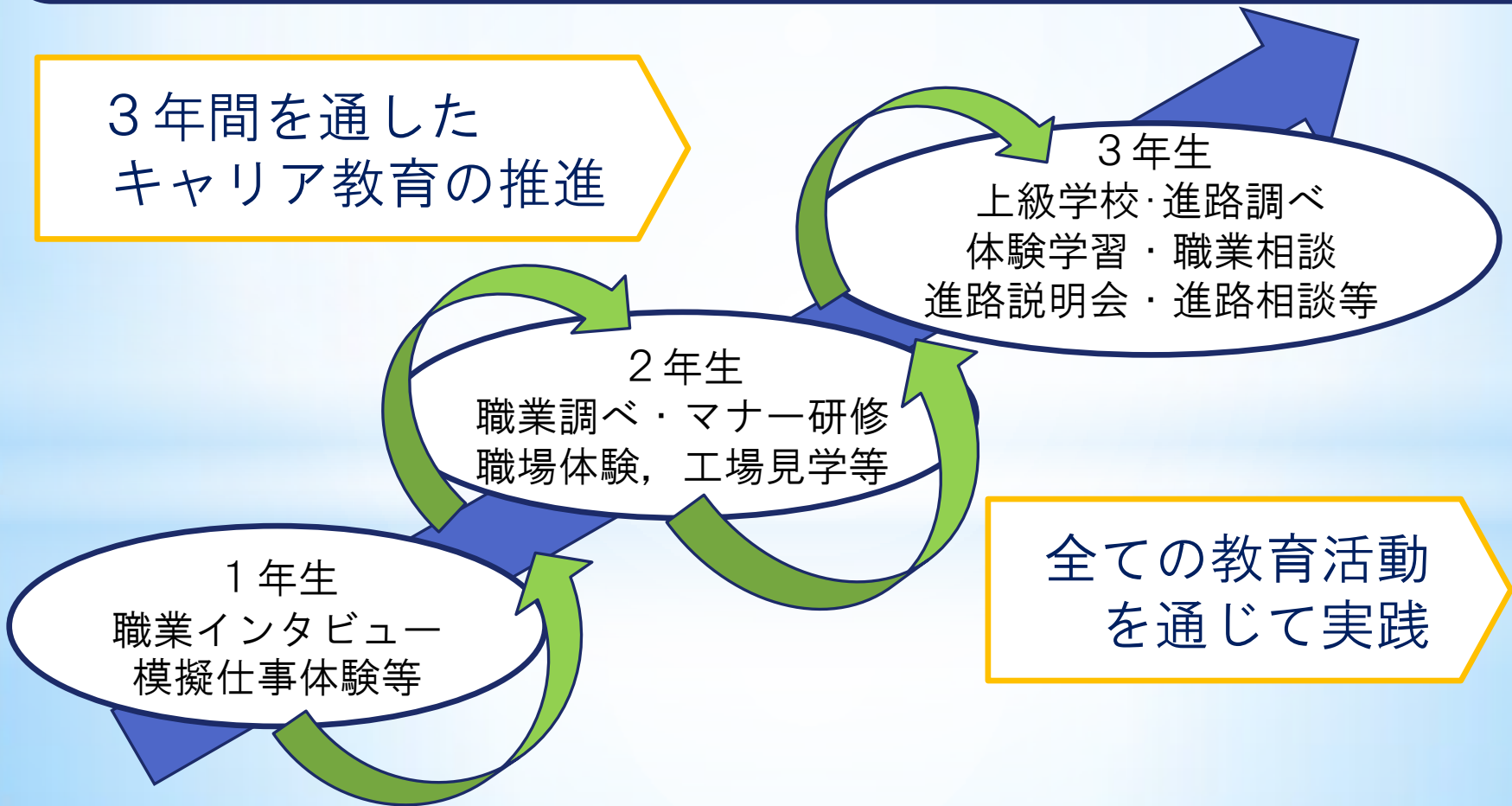
3年間を通した
キャリア教育の推進

3年生
上級学校・進路調べ
体験学習・職業相談
進路説明会・進路相談等

2年生
職業調べ・マナー研修
職場体験，工場見学等

1年生
職業インタビュー
模擬仕事体験等

全ての教育活動
を通じて実践



育成すべき能力・態度 (本校キャリア教育全体計画から)

かかわる力

- ・互いに認め合い，積極的に人間関係を築こうとする。
- ・人と人とのつながりの大切さを理解し，コミュニケーションを円滑に取る技能を身に付ける。

みつめる力

- ・自分のよさや個性を知り，自らの可能性を信じて努力する。
- ・自分の言動が周囲に及ぼす影響に気づき，互いに高め合いながら，自分を律する努力をする。

すすむ力

- ・学習や進路選択の過程で直面する課題に向き合い，主体的に解決していこうとする。
- ・成功や失敗の経験を踏まえて，自分の行動を決定していこうとする。

えがく力

- ・多様な生き方に関する情報を適切に取捨選択し，将来の生き方をイメージする。
- ・学ぶことや働くことの意義を理解し，自己の生き方を考える。

3 取組の実際

かかわる力

- ・互いに認め合い，積極的に人間関係を築こうとする。
- ・人と人とのつながりの大切さを理解し，コミュニケーションを円滑にする技能を身に付ける。

①アクティブラーニングの推進

「深い学び」「対話的な学び」「主体的な学び」の過程の実現



1年生 数学



2年生 国語



3年生 音楽

②講師を招いて校内研修

8月23日（日）「アクティブラーニング，キャリア教育について」
講師：鳴門教育大学大学院教授 前田 洋一氏

11月29日（日）「ライフスキルについて」
講師：ライオンズクエスト認定講師
津市立西橋内中学校教諭 寺本 之人氏



自己肯定感・自己有用感を高める

← 見つめる力

③マナー講習会等の実施（7月，10月）

☆1年生――「よりよい人間関係づくりに必要なマナー」について

☆2年生――「職場体験学習に向けて」

マナーの必要性，正しい礼の仕方，
正しい座り方や正しい話し方などについて

マナーとは相手の立場に立ったり，心配りをしたりすることだそうです。身だしなみは公的で誰から見ても好感がもてるものということも知りました。そして，挨拶は笑顔できちんとしたお辞儀でしなければならないということも学びました。

教えてもらったことを普段でも使いたいです。
また，職場体験や面接などでも役立てていけるようにしたいです。



えがく力

みつめる力

- ・自分の良さや個性を知り，自らの可能性を信じて努力する。
- ・自分の言動が周囲に及ぼす影響に気づき，互いに高め合いながら，自分を律する努力をする。

①各教科等において研究授業を実施（月1回）

【道徳】

- ・自分の意見や考えをしっかりと伝え，相手の意見や考えをきちんと受け止めることにより，互いに自己肯定感を高める。
- ・アサーショントレーニングでよりよい人間関係づくりを図る。



1年生 道徳



2年生 道徳

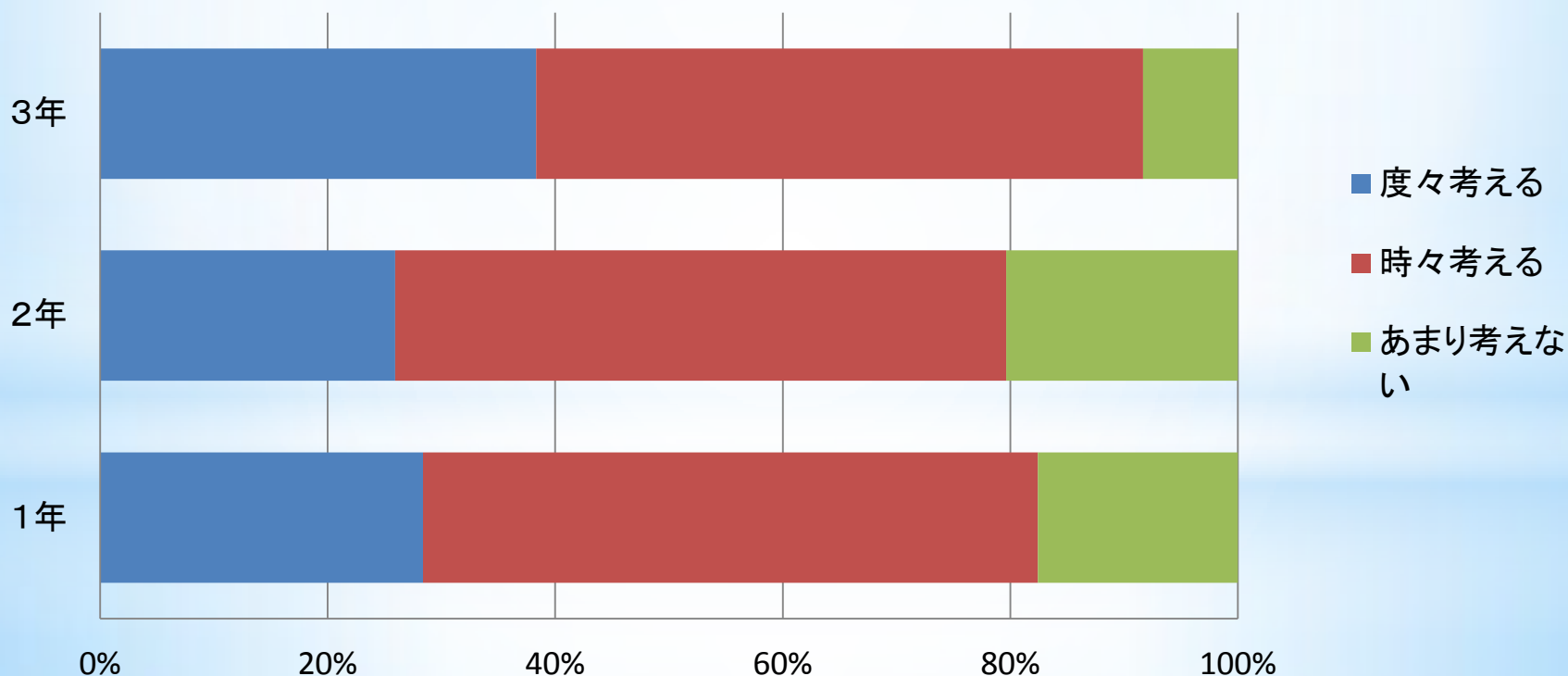


3年生 道徳

②アンケートの実施（7月，2月）

- ・年間2回実施することにより，一人一人の生徒の成長や変容を見る。
- ・ポートフォリオとして綴ることにより，生徒本人も自身の成長や変容を感じることができる。

将来就きたい職業や仕事について



「当てはまる」「少し当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」で、次の項目についてそれぞれ回答

- ①相手の立場を考えることができる。
- ②相手の意見を聴くことができる。
- ③自分の考えを相手に伝えることができる。
- ④学級の係や委員会活動などの役割を果たそうとしている。
- ⑤自分のよいところを伸ばそうと努力している。
- ⑥スクールマナーなどの集団のきまりを守っている。
- ⑦自分が決めた目標の達成に向けて努力している。
- ⑧予定どおり進まなくてもあきらめず努力している。
- ⑨失敗した経験を生かし、良くなるよう努力している。
- ⑩将来の夢や目標を持っている。

◇**ほぼ全ての生徒が肯定的に回答**している。(①～⑩)

◇⑥については「当てはまらない」と回答した生徒がいなかった。

◇全体的な状況把握に留めず、**一人一人の回答状況を見る**ことが大切。

特に、複数項目で「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答している生徒については、場面を捉えて声かけしている。

すすむ力

- ・ 学習や進路選択の過程で直面する課題に向き合い，主体的に解決していこうとする。
- ・ 成功や失敗の経験を踏まえて，自分の行動を決定していこうとする。

①目標の設定，振り返り

②教育相談，個別面談の実施

③学習委員会の活動

自分で目標時間を設定



家庭学習時間を記入



目標達成ならシール

第2学期中間考査前家庭学習時間調査

月 日	具体的な学習内容と学習時間	チェック欄
11月24日 (火)	○自主研究ノート(英語)2ページ ○英701シート 目標時間(2時間00分) 実行時間(2時間30分)	
11月25日 (水)	○自主研究(数学・国語)2ページ ○英701シート ○理科の中間テストの復習 目標時間(2時間00分) 実行時間(3時間00分)	
11月26日 (木)	○自主研究(社会・国語)2ページ 目標時間(2時間00分) 実行時間(2時間40分)	
11月27日 (金)	○自主研究(社会・数学)2ページ ○探究の理科 目標時間(2時間00分) 実行時間(3時間00分)	
11月28日 (土)	○自主研究(英語)2ページ ○歴史の学習 目標時間(2時間00分) 実行時間(2時間40分)	

テスト前10日間実施

えがく力

- ・ 多様な生き方に関する情報を適切に取捨選択し将来の生き方をイメージする。
- ・ 学ぶことや働くことの意義を理解し、自己の生き方を考える。

① 1年生

○仕事調べ，発表（5月）

○仕事模擬体験（5月）



○職場インタビュー，発表（12月）

○2年生による職場体験の発表（1月）

・・・お客さんに「また来たい」と思ってもらえるよう、笑顔を忘れないことが大切だそうです。どの仕事も大切で、それぞれの人が何かのために頑張っていることが発見できました。

次年度へとつなぐ

② 2年生

○職場体験学習（11月）



日の出本店でぶどうまんじゅうの包装や箱詰めなどをしました。容器にぶどうまんじゅうを入れるだけでも形や向き見た目などをしっかりときれいに入れるという気配りがあったてすごく勉強になりました。

この2日間はとても貴重な時間でした。病院は本当に「死」が隣り合わせです。元気だった人が突然倒れて運ばれてきたり、容態が急変したり、本当に突然です。病院にはいろいろな人がいて、常に笑顔の人、常に無表情な人、常に怒っている人、常に泣き叫ぶ人、たくさんの方が同じ場所にいました。「命は本当に尊いものなんだ」ということをこの体験を通して深く感じることができました。

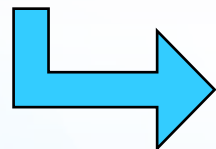
○専門高校説明会に参加（11月）

○県内の「ものづくり」企業を見学（12月）



・・・それぞれの会社には企業理念やビジョンがあって、それを守るために日々会社を高めているということです。2社ともに地域社会に貢献できる企業づくりをされていると思いました。改めて中小工場の技術のすごさを知りました。

○1年生に向けて職場体験に関する発表（1月）



次年度へとつなぐ

③ 3年生

○上級学校調べ
(2年生)

○体験入学,
オープンスクール参加

○進路説明会

○個人面接, 三者面談の実施

中学校卒業後の進路へとつなぐ

自らの役割, 将来の生き方・働き方につなぐ

今後の取組 (1~3月)

- ゲストティーチャーによる出前授業
- 職場体験から学んだこと (2年生から1年生へ)
- 進路についてのメッセージ (3年生から1・2年生へ)
- アンケート実施
- 今年度の検証・改善

5 取組の成果，課題とその改善

取組の成果

- 地域の多様な仕事や生き方に関する情報を得たり，経験したりすることができた。
- 学年全体，また学年の枠を越えた取組や行事等を通して人間関係の幅を広げ，上級生の姿に将来の自分の目標を見つけたり，成功体験から自分自身の成長を実感したりすることができた。
- 各教科等における思考を促す発問や表現活動の継続的な導入から，思考力・表現力の向上が期待できる。

5 課題とその改善

課 題

- 校区内の小学校との連携を深め，3年間を通じた取組を9年間の継続的な取組へと発展させていく。
- 単年度の取組とせず，今後も継続的に取り組んでいく。

改 善

- 校区内の小学校との連携を深めるため，教職員間の相互理解，児童生徒の交流活動等の機会を設ける。
- 次年度も継続して取り組む。
 - ・学校評価と連動したPDCAサイクル
 - ・ポートフォリオとして活用する「私の成長ノート（仮称）」

御清聴ありがとうございました。